

北朝鮮弾道ミサイルに関する警戒会議

【日時】

令和4年11月3日（木）午前10時から

【場所】

災害対策本部室（鳥取県庁第2庁舎3階）

【参集範囲】

知事、副知事、統轄監、危機管理局、総務部、農林水産部
警察、自衛隊

※市町村、各総合事務所等には、映像配信

【議題】

- （1）本日のミサイル発射状況及び事案の経過と現状
- （2）県の対応方針
- （3）その他

1 本日のミサイル発射(報道情報)

■1回目

(覚知) 07:51

(落下情報) 08:09

※宮城、山形、新潟にJアラート発報

→その後、日本の上空は通過せず日本海上空で
消失との情報

■2回目

(覚知) 08:44

(落下情報) 08:49

※Jアラートの発報なし

■3回目

(覚知) 08:53

(落下情報) 08:56

※Jアラートの発報なし

全国瞬時警報システム(Jアラート)による 緊急情報伝達状況

3県

【発射情報】(07:50)宮城、山形、新潟

【通過情報】(08:00)宮城、山形、新潟

※本県には、エムネットにより情報伝達



【事案の経過と現状（報道内容）】

- 米韓両軍が10月31日から11月4日にかけて最新鋭のステルス戦闘機F35など合計約240機を投入する合同訓練を実施中
- 北朝鮮は、この訓練を受けて、11月1日に朝鮮労働党書記が米韓に向けての談話を発表し、「狂気を帯びた『戦争ごっこ』と挑発的な妄言は中断されなければならない」と主張し、訓練を続ければ「恐るべき事件に直面し、史上最も大きな代償を払うことになるであろう」と警告
- 北朝鮮は米韓軍による合同訓練の中止を求める一方で、「より強化した次の段階の措置を考慮する」として更なる挑発に出る可能性もあり、南北間の緊張激化への懸念が強まっている。

【事案の推移(報道内容)】

■11月2日 06:51頃(北朝鮮)

◇西部平安北道(ピョンアンナムド)から朝鮮半島西側の黄海にSRBM4発を発射

■08:51頃(北朝鮮)

◇東部江原道(カンウォンド)から朝鮮半島東側の東海にSRBM3発を発射

◇うち1発がNLL(北方限界線)を越えて韓国領海付近に落下し鬱陵島(ウルルンド)では空襲警報が発令

※北朝鮮がNLLを侵犯して軍事的挑発に踏み切るのは2010年発生 of 延坪島(ヨンピョンド)砲撃が最後で弾道ミサイルによるNLL侵犯は南北分断後、初

※北朝鮮弾道ミサイルによる韓国国内での空襲警報の発令は2016年2月以来約6年9か月ぶり

■09:12頃(北朝鮮)

◇東部咸鏡南道(ハムギョンナムド)から東海に、平安南道・黄海南道(ファンヘナムド)から黄海に地对空ミサイル等10発を発射

■11:10～12:21頃(韓国)

◇北朝鮮に対抗して、空軍の戦闘機で「北のミサイル落下地点と相応の距離」のNLL北側の公海上に長距離対空地ミサイルの(SLAM-ER)2発、スパイス2000誘導爆弾1発を発射

※異例の対抗措置

■13:30頃(北朝鮮)

◇南部江原道から東海に向けNLL北側の緩衝区域に約100発の砲撃

※緩衝区域への砲撃は南北軍事合意違反であり、韓国軍は即時中止を求める警告通信を実施

■16:30～17:10頃(北朝鮮)

◇東部咸鏡南道から東海・黄海に向けて地对空ミサイルなどと推定される6発のミサイルを発射

【韓国政府の対応（報道情報）】

- 尹錫悦(ユン・ソクヨル)大統領は11月2日に緊急の国家安全保障会議(NSC)を開き「NLLを侵犯したミサイルによる実質的な領土侵害行為」と非難し、厳しい対応を指示
- 韓国軍は警戒態勢を上から2番目の「2級」に引き上げて火力待機態勢も引き上げ
- 北朝鮮による緩衝区域への砲撃を受けて、警告通信を実施
- 韓国軍合同参謀本部は空軍戦闘機による対抗措置後、「我が国の度重なる警告にもかかわらず、北が挑発を続けているため、今後発生する全ての事態に対する責任は北側にあることを改めて警告する」と強調

【総理指示】

11月3日(木)

■07:44

- 1 情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと
- 2 航空機、船舶等の安全確認を徹底すること
- 3 不測の事態に備え、万全の態勢をとること

■07:54

- 1 ミサイルが通過したと判断される地域に重点を置き、落下物等による被害がないか、速やかに確認すること
- 2 北朝鮮の今後の動向を含め、引き続き、情報収集・分析を徹底すること
- 3 米国や韓国等、関係諸国と連携し、引き続き、必要な対応を適時適切に行うこと

2 県の対応状況(初動対応)

【時間】	【概要】
07:51	・内閣官房からミサイル発射情報を受信 → 直ちに漁船等の安否確認を開始 → 職員参集メール等で庁内情報共有
08:00	・ミサイル通過情報受信(Jアラート)
08:09	・内閣官房からミサイル落下推定情報受信
08:40	・鳥取県関係の安否確認完了
08:44	・内閣官房からミサイル発射情報を受信 → 改めて直ちに漁船等の安否確認を開始
08:49	・内閣官房からミサイル落下推定情報受信
08:53	・内閣官房からミサイル発射情報を受信 → 改めて直ちに漁船等の安否確認を開始
08:56	・内閣官房からミサイル落下推定情報受信
09:22	・鳥取県関係の安否確認完了

【知事コメント】

令和4年11月3日

北朝鮮はミサイルをところかまわず乱射して狂気の沙汰だ。

政府には、冷静に事態を分析し、拉致問題も含め実効ある対策を講じて欲しい。

鳥取県もレベルを上げた警戒態勢にする。なお、県内船舶の安全は確認した。

【拉致被害者家族(松本 孟 氏)コメント】

令和4年11月3日

北朝鮮がこのようなミサイルの発射をしたことには、「またか」という気持ちだ。政府には、早急に他国と協力し北朝鮮と交渉を進めてほしい。

今回のことで、拉致問題解決に向けた取組みに影響があるだろうが、家族としては、政府には早く確実にやるべき手を一つ一つ打って欲しい。

【県民へのお願い】

- ・不審な落下物には近づかず、警察、消防、海上保安庁に通報してください。
- ・今後も国又は県が発信する情報に注意してください。

【県の体制】

＜情報収集・連絡調整＞

◆市町村・関係機関との連携

◆情報の伝達に万全を期すため3手段を確保

■Jアラート

国→県・市町村への情報伝達(文字・音声の送信)

※防災行政無線を通じて自動放送(鳥取県に飛来する可能性がある場合のみ)

■エムネット

国→県・市町村・消防局等への情報伝達(メールによる添付ファイル送付)

■消防防災無線FAX

国→県→市町村・消防局等への情報伝達

＜住民等への情報提供＞

■県ホームページ(携帯電話用も含む。)、あんしんトリピーメール、ツイッター、フェイスブック、Lアラート、災害情報ダイヤル(電話0857-26-8100)、Yahoo!防災速報による情報提供

■報道機関、市町村を通じた情報提供



■県は対応レベルを上げた警戒態勢とする。

◆各部局の対応

危機管理局	<ul style="list-style-type: none">・情報の収集、集約及び伝達・国、市町村、関係機関（自衛隊・海上保安庁・警察・消防）との連絡調整・住民広報（令和新時代創造本部と共同）
交流人口拡大本部 （観光戦略課）	<ul style="list-style-type: none">・落下後の国内便への安否確認
生活環境部 （原子力環境センター）	<ul style="list-style-type: none">・モニタリング態勢を強化
農林水産部 （漁業調整課）	<ul style="list-style-type: none">・落下区域操業漁船の把握及び安否確認・関係する漁業者への注意喚起
教育委員会 （教育総務課）	<ul style="list-style-type: none">・海洋実習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認
共通	<ul style="list-style-type: none">・万万が一に備えた対策 「屋内退避等の呼びかけ準備」 「県内に着弾した場合の対応準備」